YUSHIN

会社説明会資料

プライム市場　証券コード6482

2022年8月23日(火)

株式会社ユーシン精機

目次

- 会社概要・・ 3
- ユーシン精機のお客様　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- 取出ロボットとは・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
- ユーシン精機のロボットが扱う製品群・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
- 取出ロボットはなぜ必要か？・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
- 取出ロボットに求められる機能　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
- ユーシン精機の強み・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
- 沿革・・・12
- 業績・・・14
- 中期経営目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19
- ESG ・・25
- 株主還元策・・・26
- 参考資料・・29

© 2022 YUSHIN PRECISION EQUIPMENT CO., LTD.

会社概要

社　　名	株式会社ユーシン精機
代　表　者	代表取締役社長　小谷 高代
設　　立	1973年10月
資　本　金	19億8,566万円
社　員　数	692人 (2022年3月末現在、連結)
連結売上高	208億円 (2022年3月期)
事業内容	産業用直交型ロボットを中心に工場自動化に関連する装置・システムの開発、製造、販売。
上　　場	プライム市場
証券コード	6482
売買単位	100株

© 2022 YUSHIN PRECISION EQUIPMENT CO., LTD.

社名の由来、社訓、創業者語録

YUSHIN

- **社名の由来**

  「ユーシン」は「有信」、「信用のある会社」でありたいという

  創業者 小谷 進 の思いを表したもの

- **社訓**

  今日も一日、より良くユーザーに尽くし、より多くの信用を得ましょう

- **創業者語録**

  「品質は社運を決める」

  「できない、無理だ、は出発点」

  「ひとつのテーマには、少なくとも7つの解決法を考えよ」

© 2022 YUSHIN PRECISION EQUIPMENT CO., LTD.

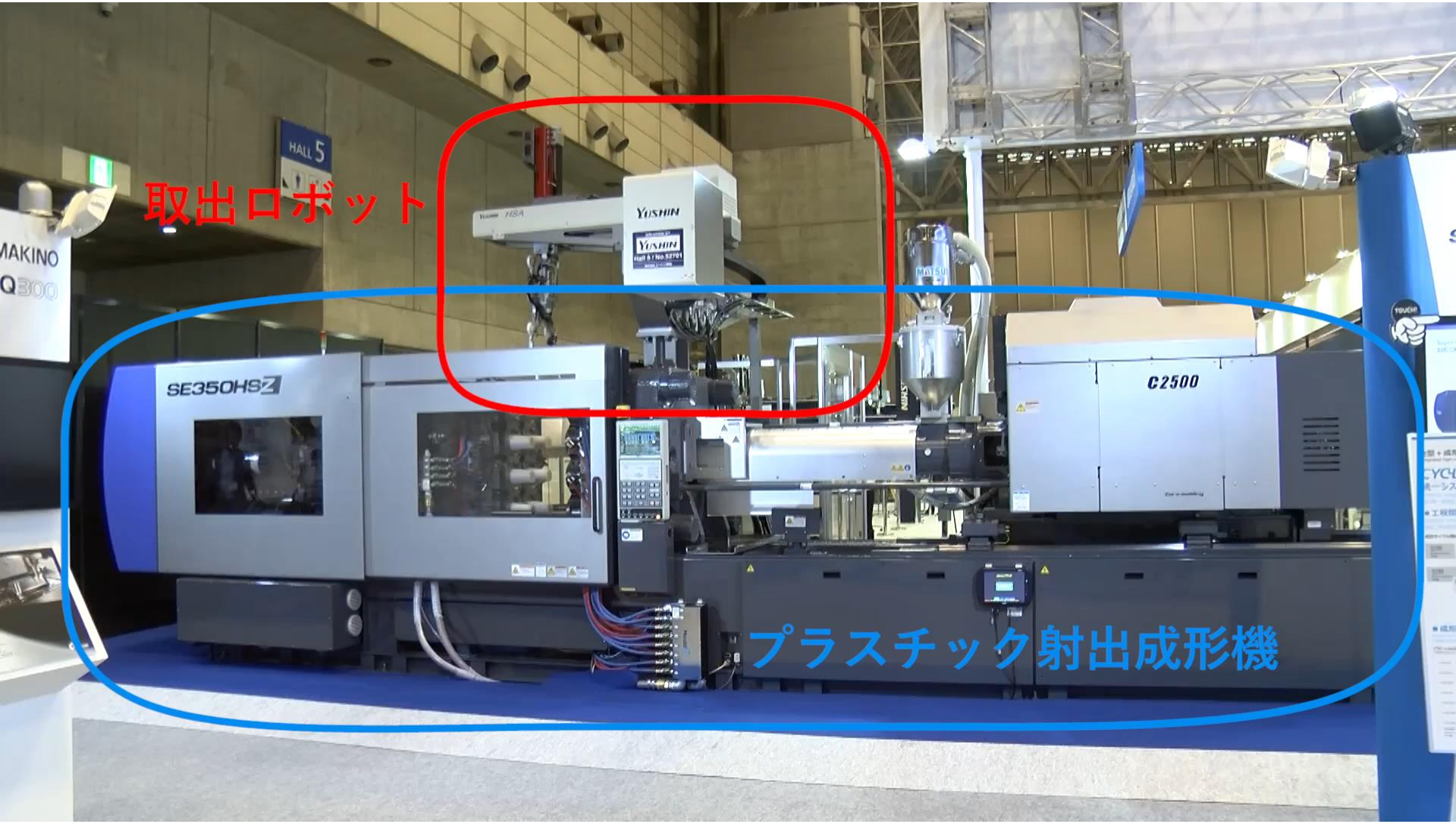
ユーシン精機のお客様

世界中のものづくりの製造現場に

生産自動化を支えるユーシン精機の技術があります

© 2022 YUSHIN PRECISION EQUIPMENT CO., LTD.

取出ロボットとは



© 2022 YUSHIN PRECISION EQUIPMENT CO., LTD.

ユーシン精機のロボットが扱う製品群

YUSHIN

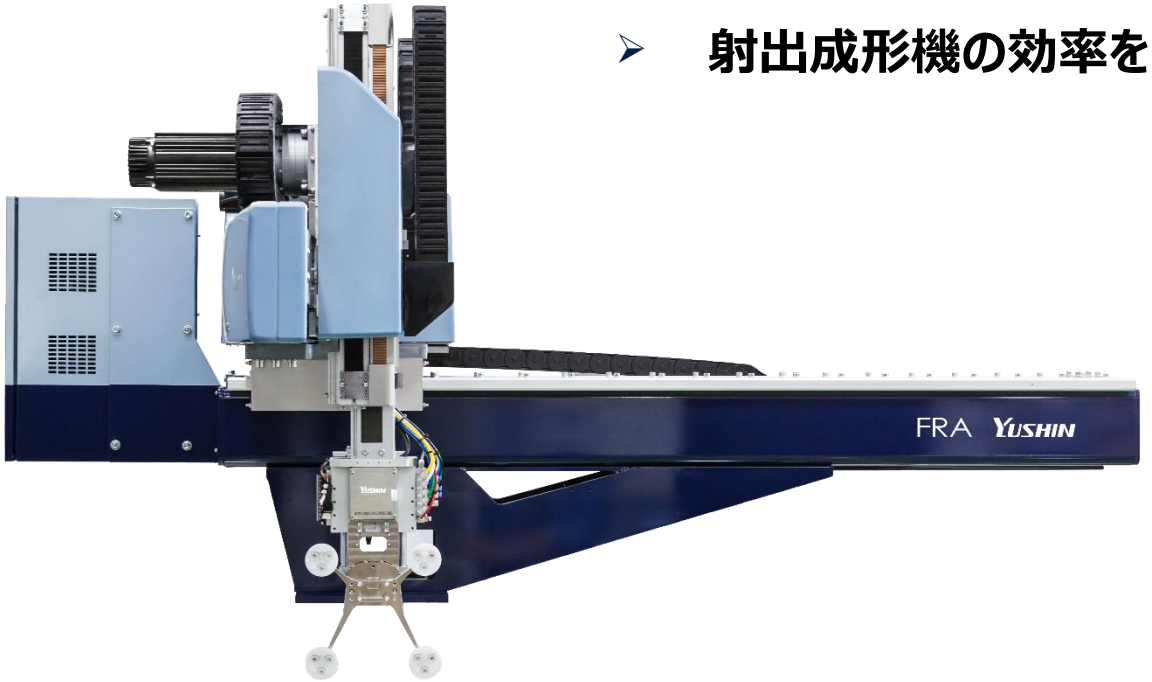
○

×

© 2022 YUSHIN PRECISION EQUIPMENT CO., LTD.

取出ロボットはなぜ必要か？

- 労働安全性を上げる
  - プラスチック成形品の歩留まり（良品率）を上げる
  - 射出成形機の効率を上げる



© 2022 YUSHIN PRECISION EQUIPMENT CO., LTD.

取出ロボットに求められる機能

スピード

精度

安全性

© 2022 YUSHIN PRECISION EQUIPMENT CO., LTD.

ユーシン精機の強み

YUSHIN

技術力

- 業界初へのこだわり
- 新規分野への挑戦

幅広いユーザー層

- グローバル展開
- 多業種

信用

- 生産を止めないものづくり
- レスポンスの良さ
- 納期厳守

財務体質

- 無借金経営
- 高い自己資本比率
- ファブライト経営

↓

シェアNo.1

© 2022 YUSHIN PRECISION EQUIPMENT CO., LTD.

技術力紹介 -けん玉デモンストレーション-

© 2022 YUSHIN PRECISION EQUIPMENT CO., LTD.

沿革 (1)

YUSHIN

- 1971年　ユーシン精機創立
- 1973年　株式会社ユーシン精機設立 (資本金400万円)
- 1978年　業界最後発　取出ロボット市場へ参入
- 1988年　YUSHIN AMERICA, INC. (アメリカ)設立
- 1989年　取出ロボットSERVOLINER発売
  - -業界初の全軸サーボモータ駆動
- 1994年　ディスク取出ロボットDRD発売
  - -世界最速の取出タイム0.15秒
- 1996年　業界初のカラータッチパネル式コントローラ
  - 大証二部に株式上場
- 1999年　東証一部に株式上場　(市場初、大証二部から東証一部へ昇格)
  - 国内シェアトップに
- 2002年　ディスク取出ロボットDRDⅢ発売
  - -取出タイム0.069秒、世界最速記録を大幅更新

© 2022 YUSHIN PRECISION EQUIPMENT CO., LTD.

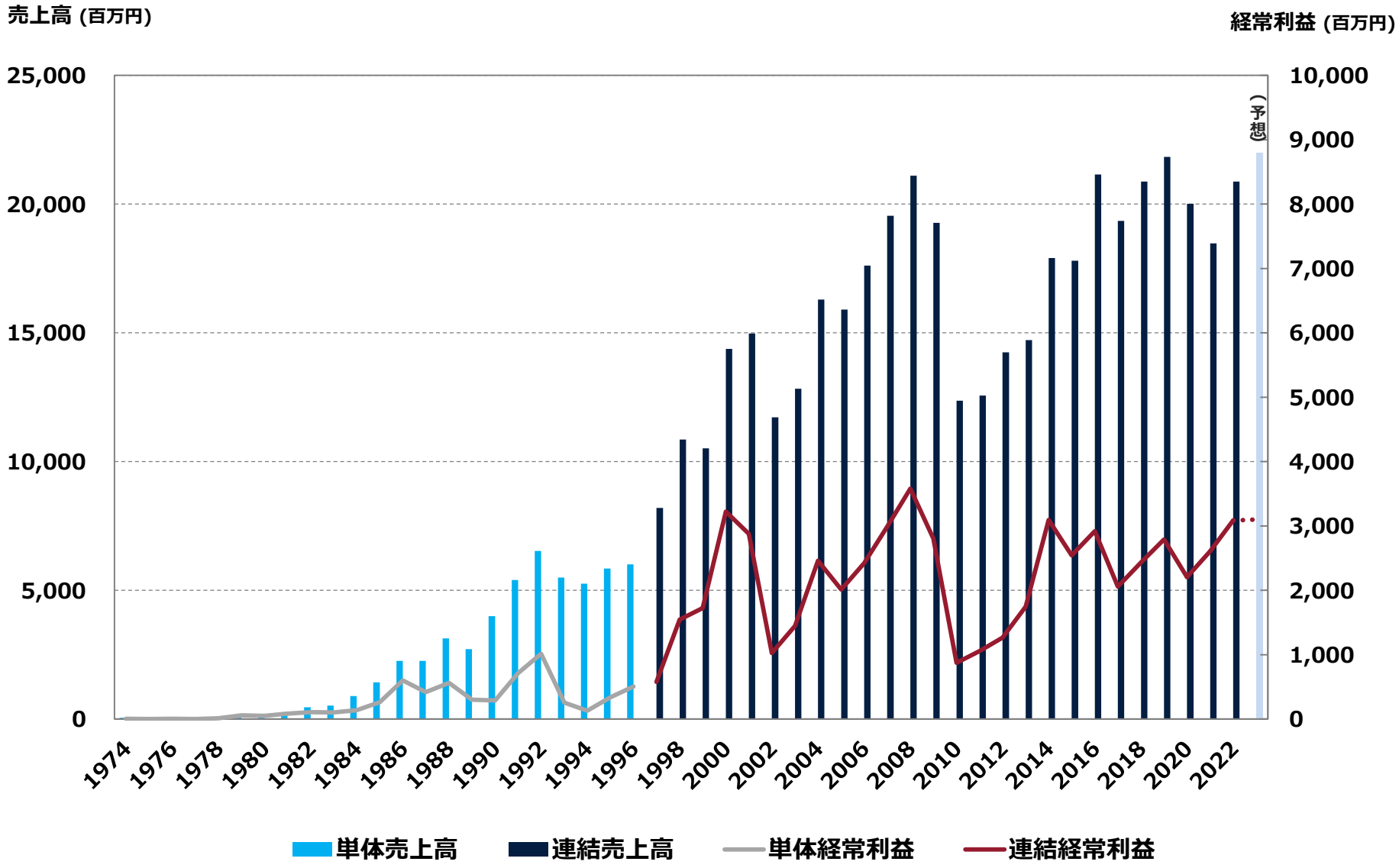
沿革 (2)

YUSHIN

- 2010年　京都大学と共同開発した
  最適設計による取出ロボットHSAを発売
- 2012年　「構造最適化技術に基づく高性能射出成形機用取出ロボットの開発」 日本機械学会賞(技術) <HSAシリーズ>
- 2013年　優秀省エネルギー機器日本機械工業連合会会長賞 <YCシリーズ>
- 2016年　新本社工場落成
- 2017年　ハイエンド製品取出ロボットFRA発売
  独自のIoTサービス「INTU LINE」発表
- 2019年　「アクティブ振動制御装置を搭載した射出成形機用取出ロボットの開発」　日本機械学会賞(技術) <FRAシリーズ>
  レッドドット・デザイン賞2019 <FRAシリーズ>
- 2020年　パレタイジングロボットPA発売

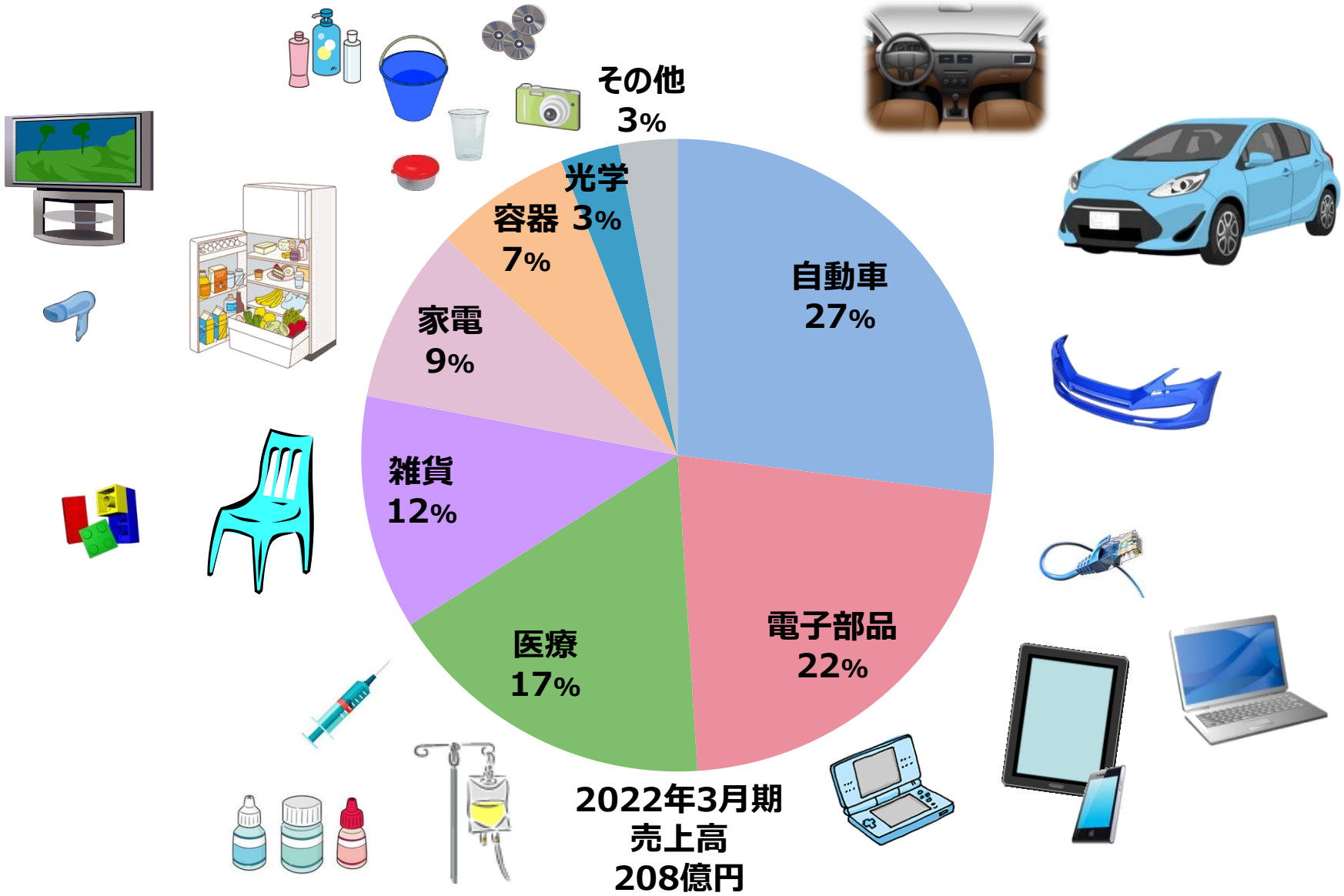
reddot design award
winner 2019

業績推移



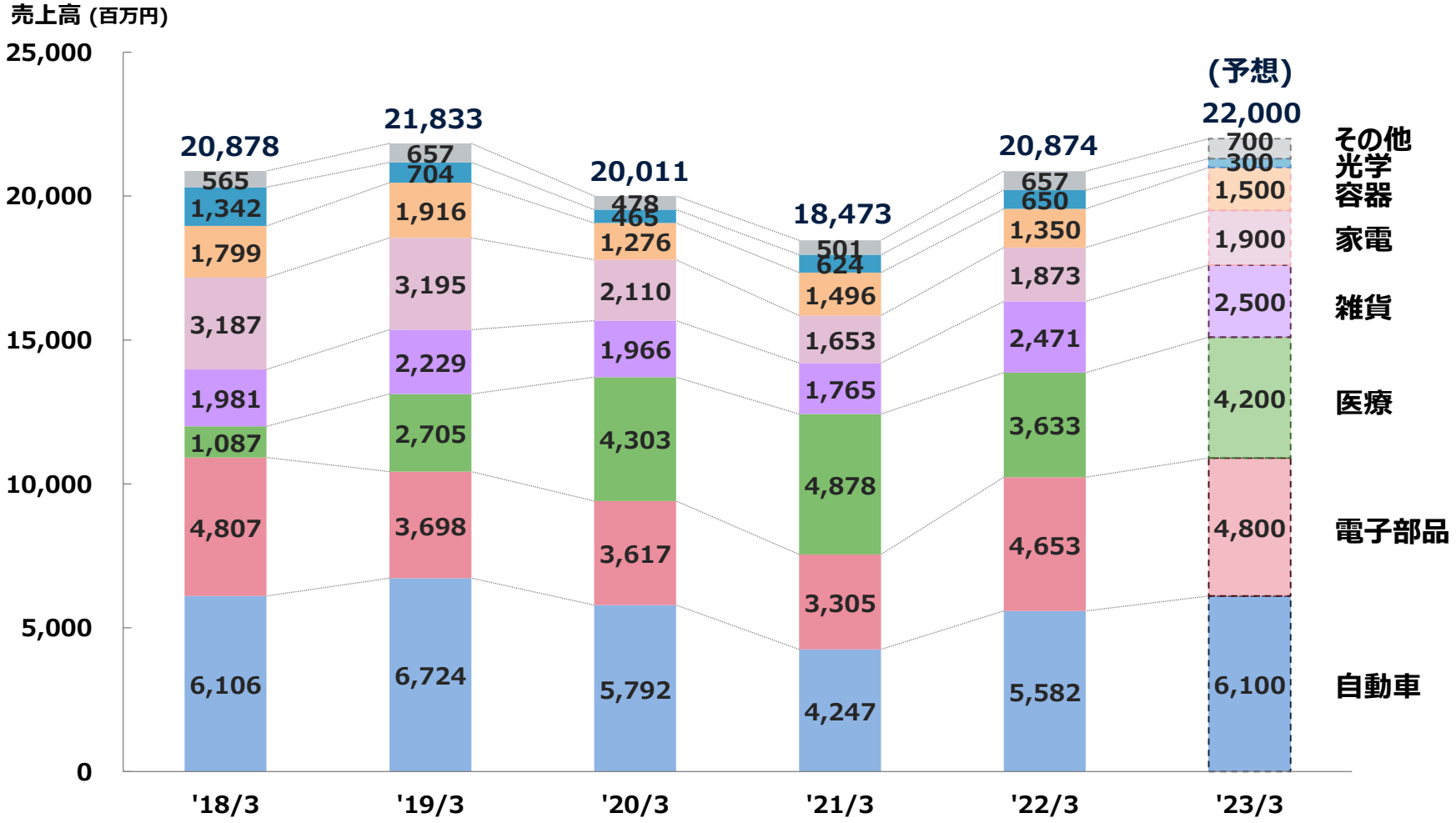
© 2022 YUSHIN PRECISION EQUIPMENT CO., LTD.

業種別売上高構成



業種別売上高

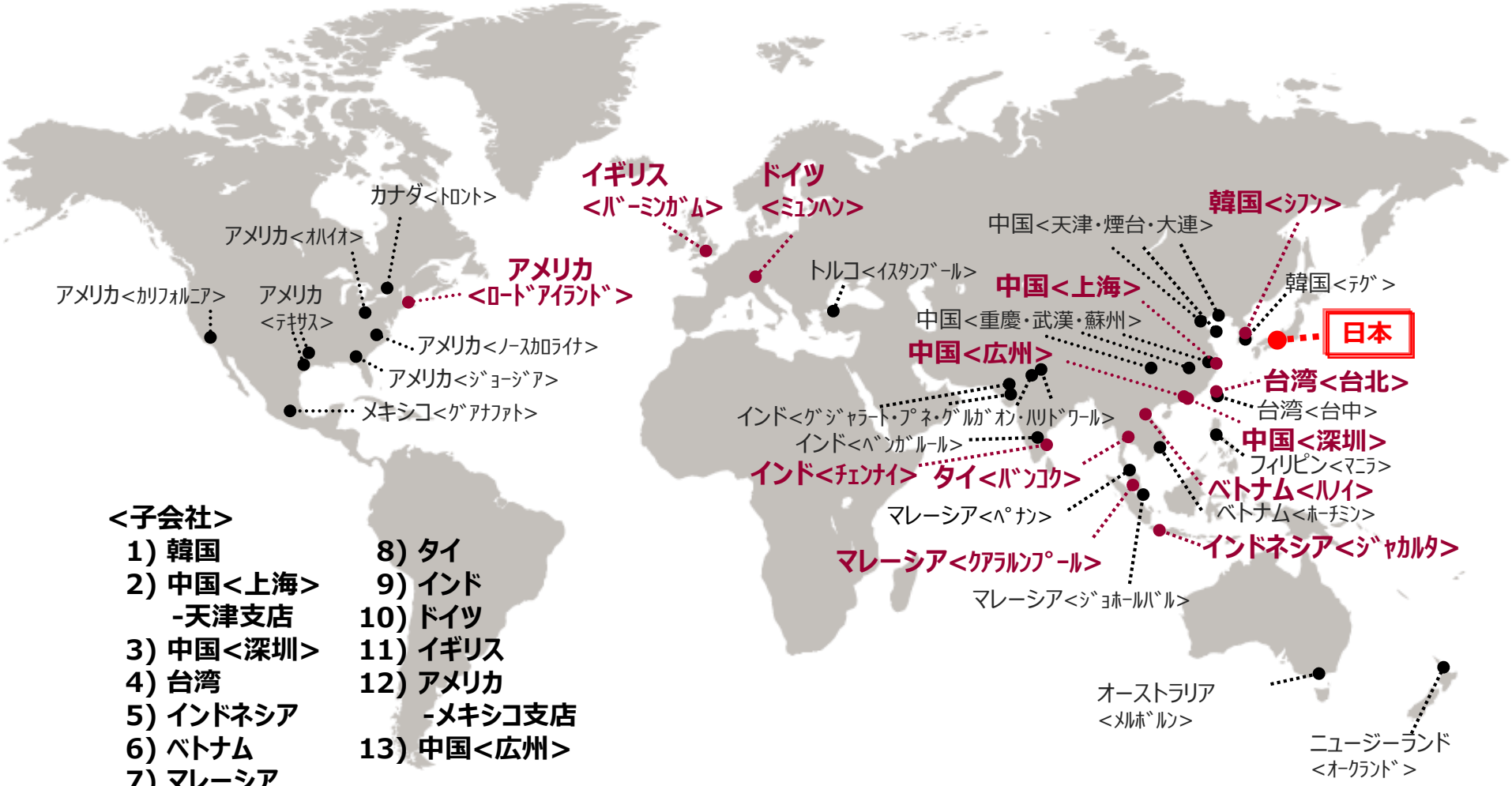
- **多業種展開**によるリスク分散
- 2022年3月期は**自動車・電子部品**を中心に増加
- **医療分野**は取出ロボット及び特注機が**拡大中**



© 2022 YUSHIN PRECISION EQUIPMENT CO., LTD.

グローバルネットワーク

YUSHIN



<子会社>

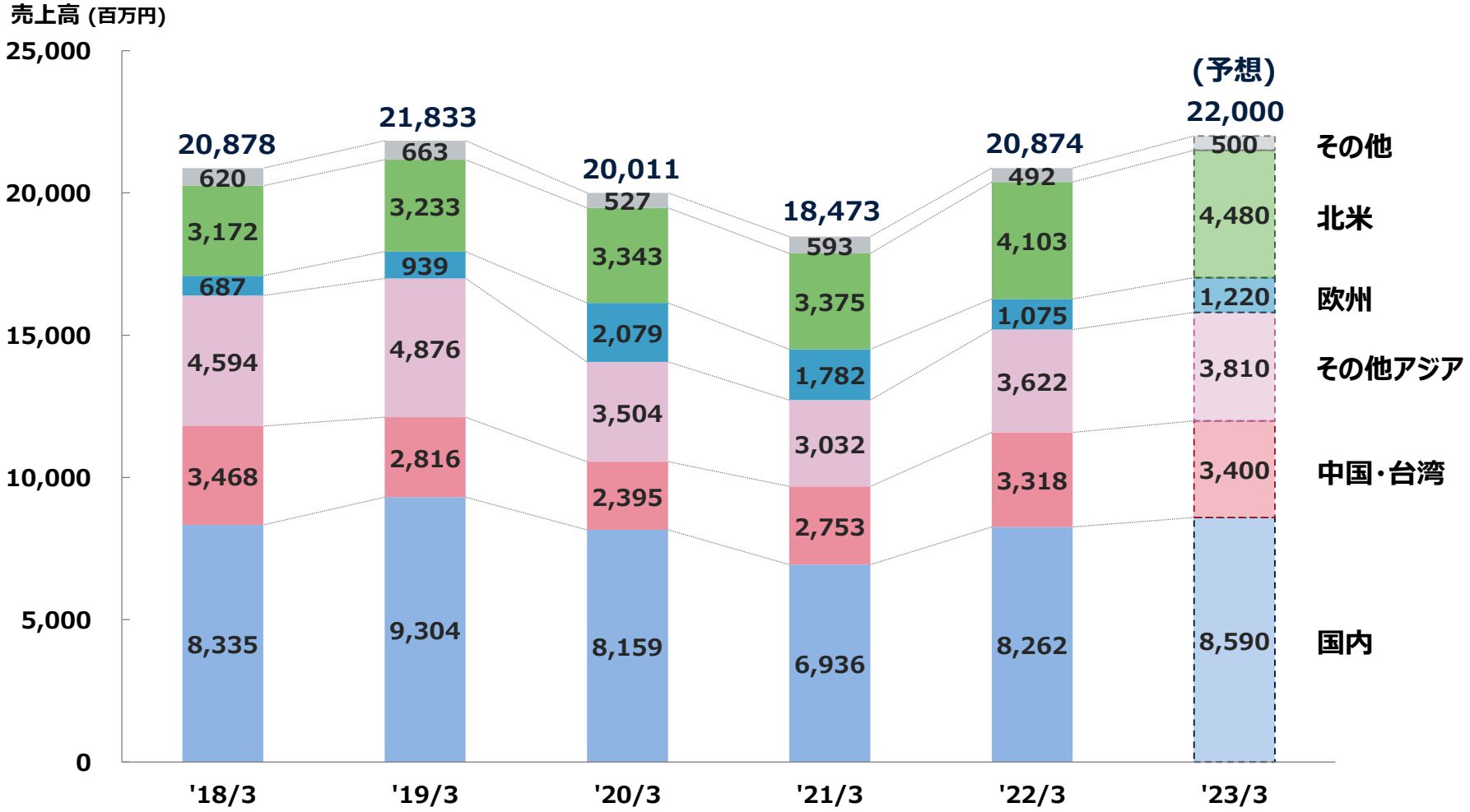
1) 韓国
2) 中国<上海>
   -天津支店
3) 中国<深圳>
4) 台湾
5) インドネシア
6) ベトナム
7) マレーシア
8) タイ
9) インド
10) ドイツ
11) イギリス
12) アメリカ
   -メキシコ支店
13) 中国<広州>

<駐在員事務所>

1) フィリピン

地域別売上高

- 2022年3月期は欧州を除く全地域で増加
- 売上の約6割が海外市場
- 各地域でローカライズを進め顧客ニーズを取り込む



© 2022 YUSHIN PRECISION EQUIPMENT CO., LTD.

中期経営目標

YUSHIN

中期経営目標

- 連結売上高： 300億円以上
- 連結経常利益：50億円以上
- 経常利益率： 15%以上
- 1株当たり利益： 75円以上

2022年3月期

- 連結売上高：208億円
- 連結経常利益：30億円
- 経常利益率： 14.8%
- 1株当たり利益： 62円

戦略④ 新規事業の開拓

戦略③ 次世代を切り開く人財育成

戦略② グローバル競争力の強化

戦略① 商品力の強化

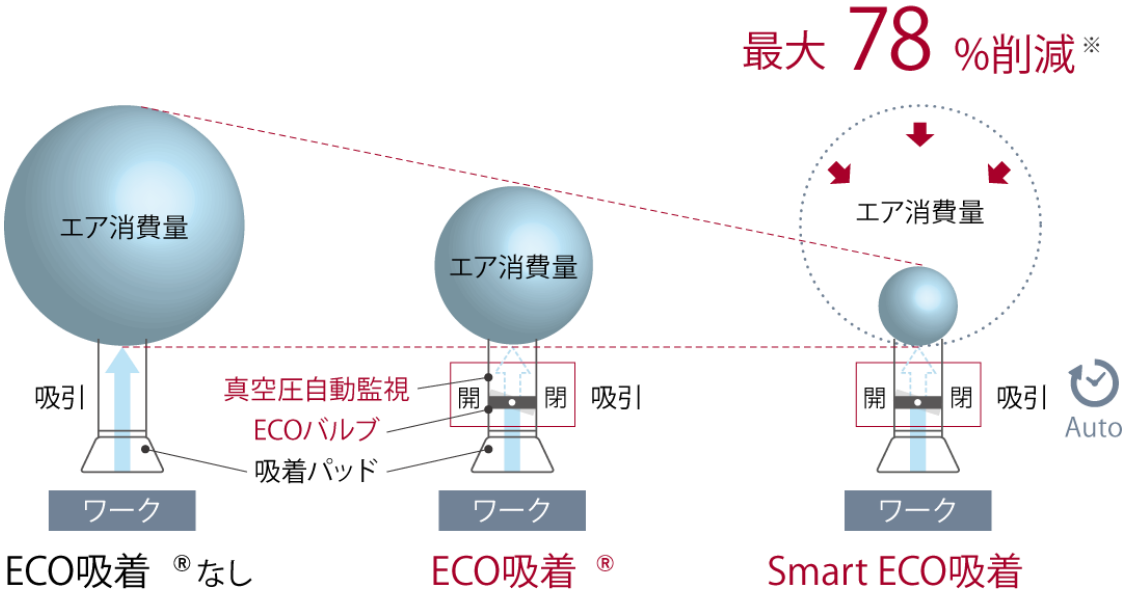
© 2022 YUSHIN PRECISION EQUIPMENT CO., LTD.

戦略①　商品力の強化

YUSHIN

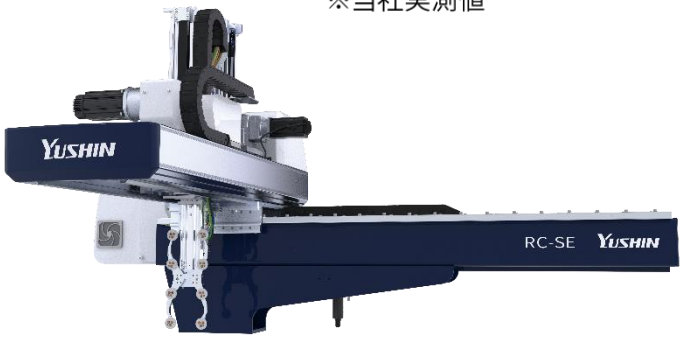
➢ **環境配慮型ロボットの展開**

Smart ECO吸着(PAT.P)で省エネに貢献



※当社実測値

YDシリーズ（2021年10月発売）



RC-SEシリーズ（2021年7月発売）

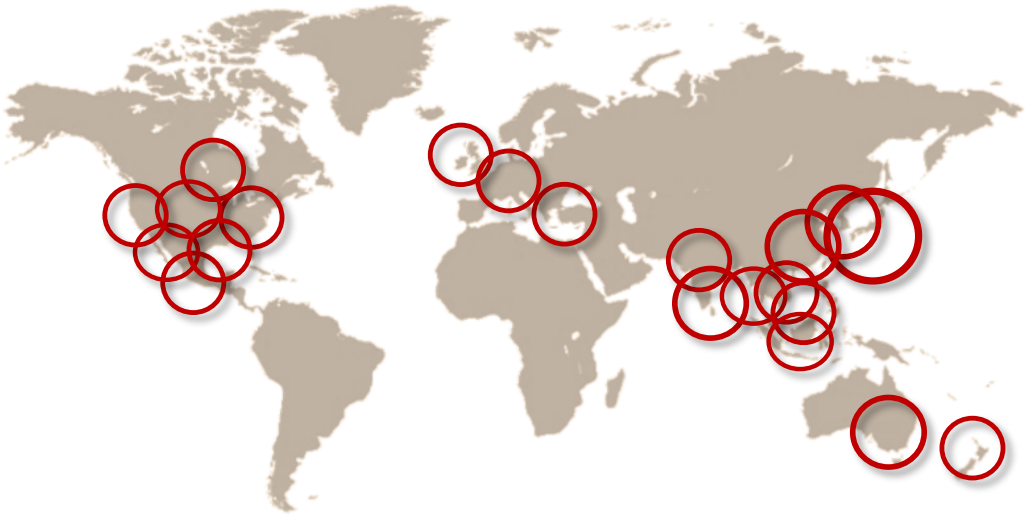
© 2022 YUSHIN PRECISION EQUIPMENT CO., LTD.

戦略②　グローバル競争力の強化

- **地域特性**に応じた商品開発
- **ヨーロッパでの拡販**に向けてドイツ(ミュンヘン)拠点活用
- 世界各国のトップクラス企業をターゲットに
- 各国のローカルユーザーの更なる獲得

クリーンルーム対応「SX-41」

フランス　FIP展示会（2022年4月）



戦略③　次世代を切り開く人財育成

YUSHIN

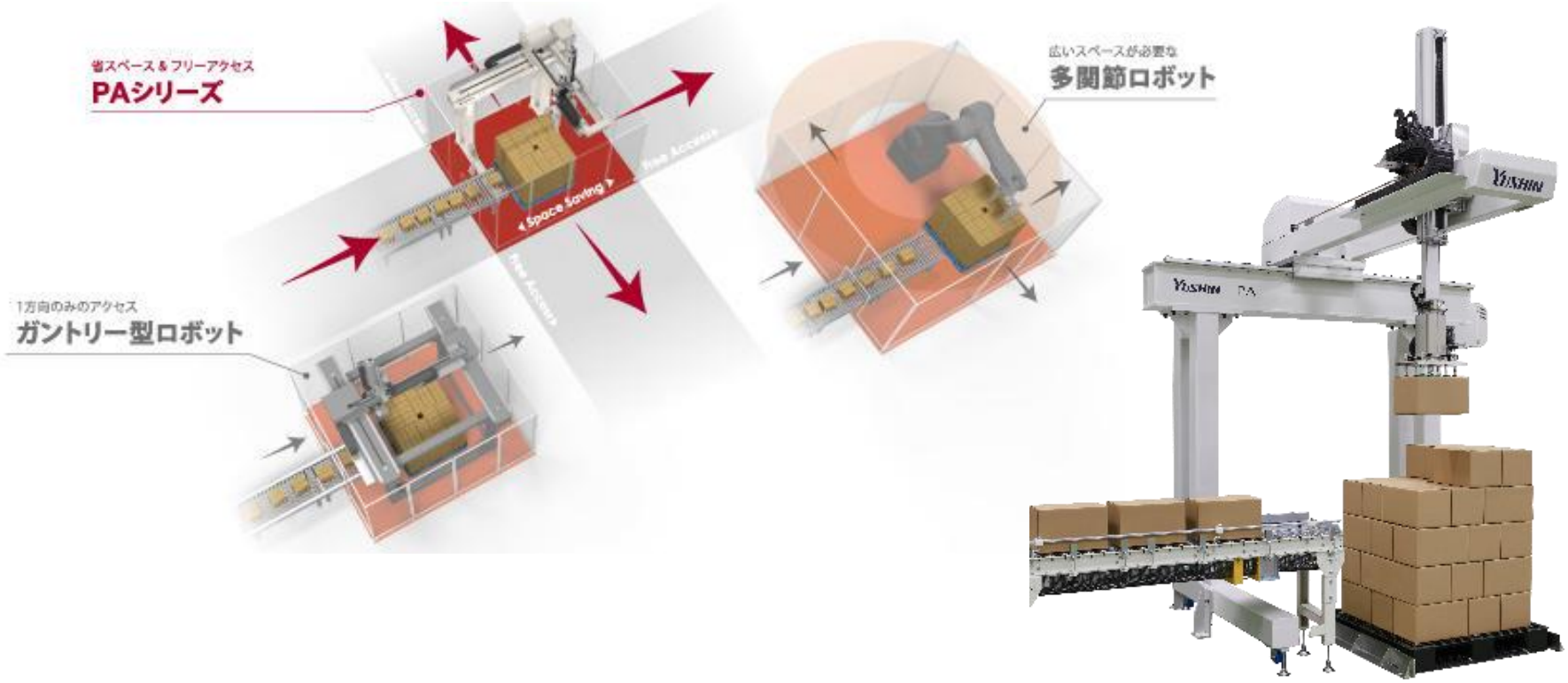
- 「まず、想いにとどく」をコンセプトにブランド・人財育成ポリシーを策定
- 仕事のやりがい・働きやすさの向上に向けた環境づくり
  創造性・主体性を持った人財を養う「イノベーションプロジェクト活動提案制度」
- 成長のステージに応じて支援するための教育制度の充実
  技術研修(eラーニングも整備)、次世代リーダー育成プログラム、マネジメント研修
- 女性の積極活用により女性管理職割合5.0%（業界平均3.6%※）

※ 厚生労働省「賃金構造基本統計調査」生産用機械器具製造業平均値(2022年5月公表)

© 2022 YUSHIN PRECISION EQUIPMENT CO., LTD.

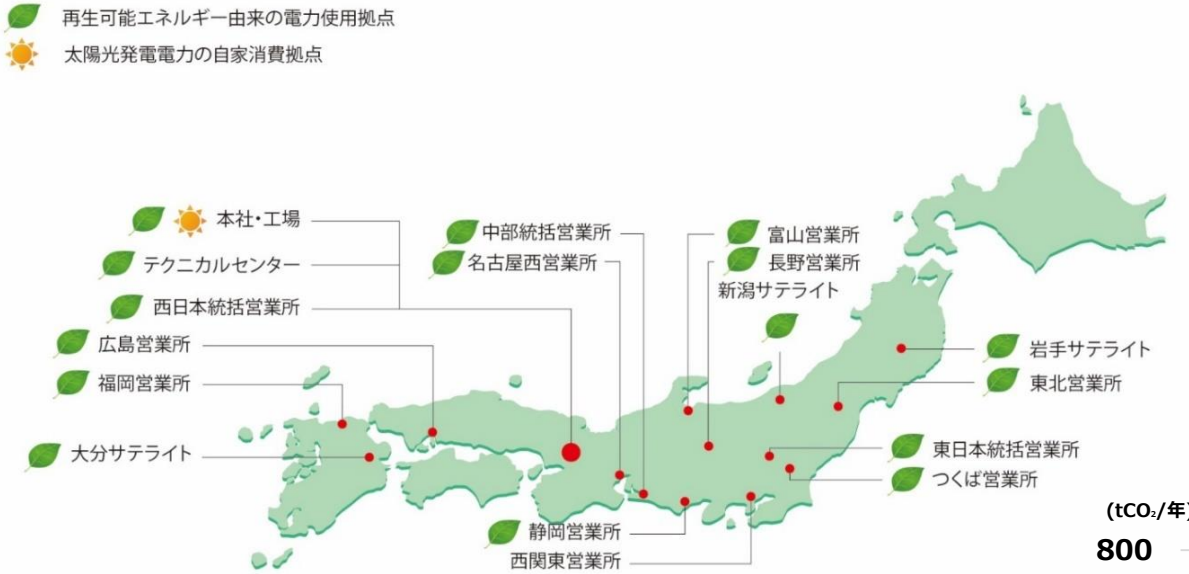
戦略④　新規事業の開拓

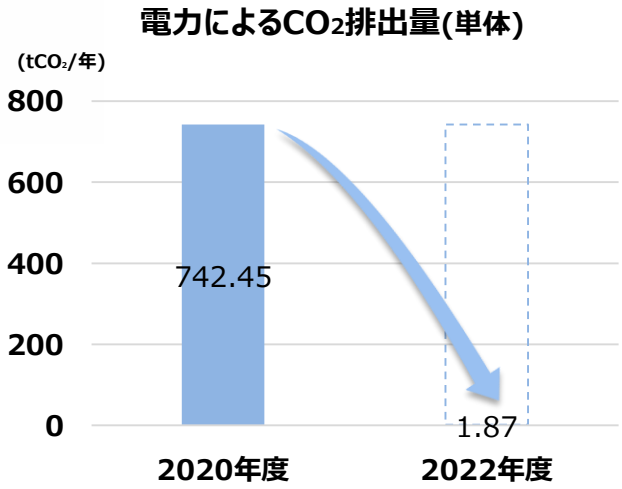
- パレタイジングロボット「PA」シリーズ発売（2020年6月）
  - 食品業界等を主とした**新しいユーザー層**の獲得
  - 省スペース＆フリーアクセスをアピール



気候変動対策

- 気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)提言賛同（2022年4月）
- 再生可能エネルギー由来の電力へ切り替え（2022年4月）





ESG

YUSHIN

E
環境

<環境負荷の低減>

・省エネ商品開発 (優秀省エネ機器・システム表彰の受賞)

・環境マネジメントシステム(ISO14001)の推進

・再生可能エネルギー由来の電力へ切り替え

S
社会

<お客様工場の働き方改革>

・工場全体の自動化システム提供

<安心・安全>

・世界最高基準の安全規格搭載ロボット販売

<働きやすい環境づくり>

・働き方支援チーム設置

・法要請を上回る育休、時短制度

・働くママを応援 YUSHIN Mama's Meeting

G
ガバナンス

<ガバナンス体制の強化>

・取締役8名のうち、3名を社外から選任

・実効性評価による取締役会の改善

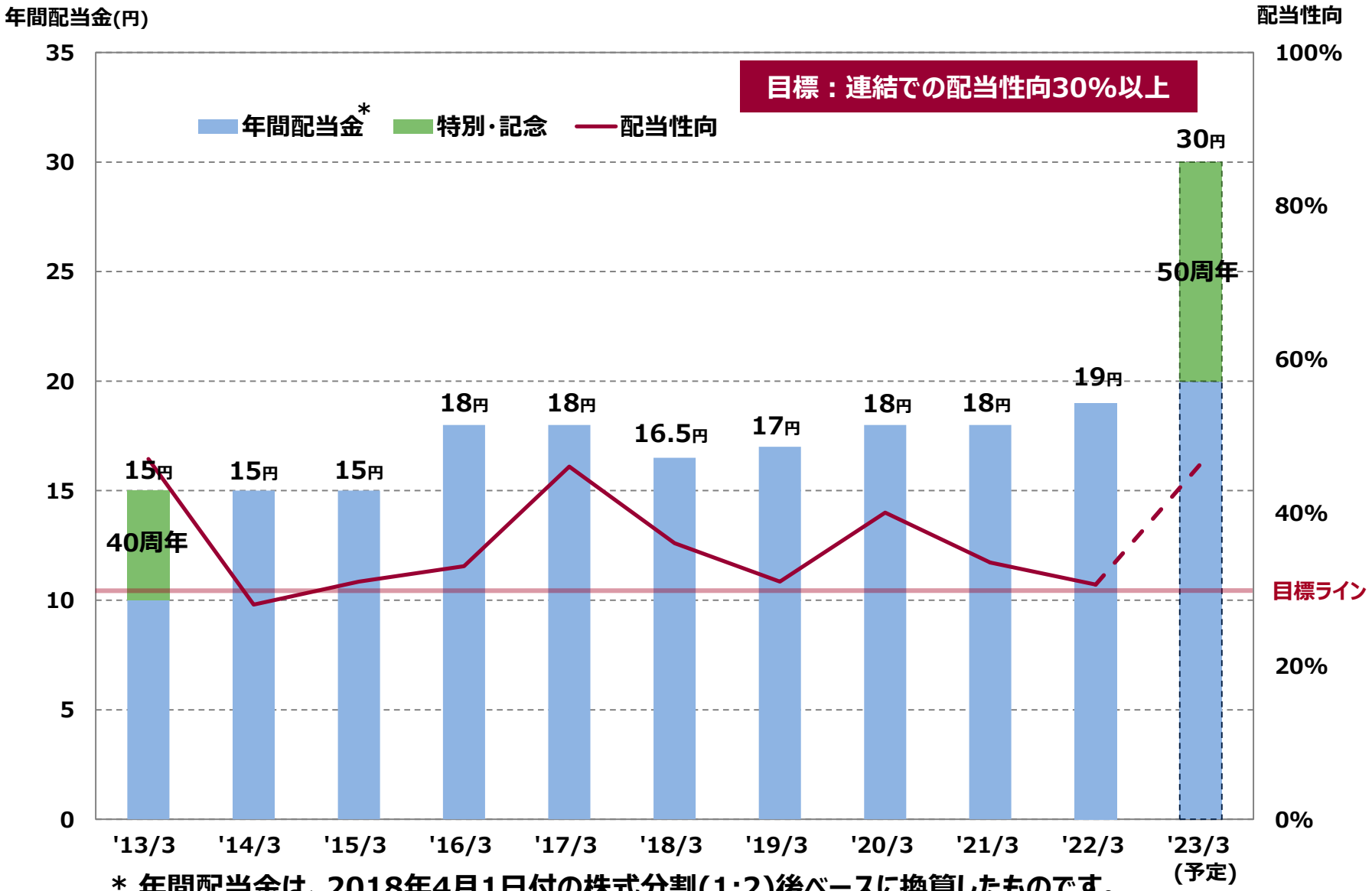
<ダイバーシティ>

・取締役8名のうち、女性2名

関連する
SDGs項目

© 2022 YUSHIN PRECISION EQUIPMENT CO., LTD.

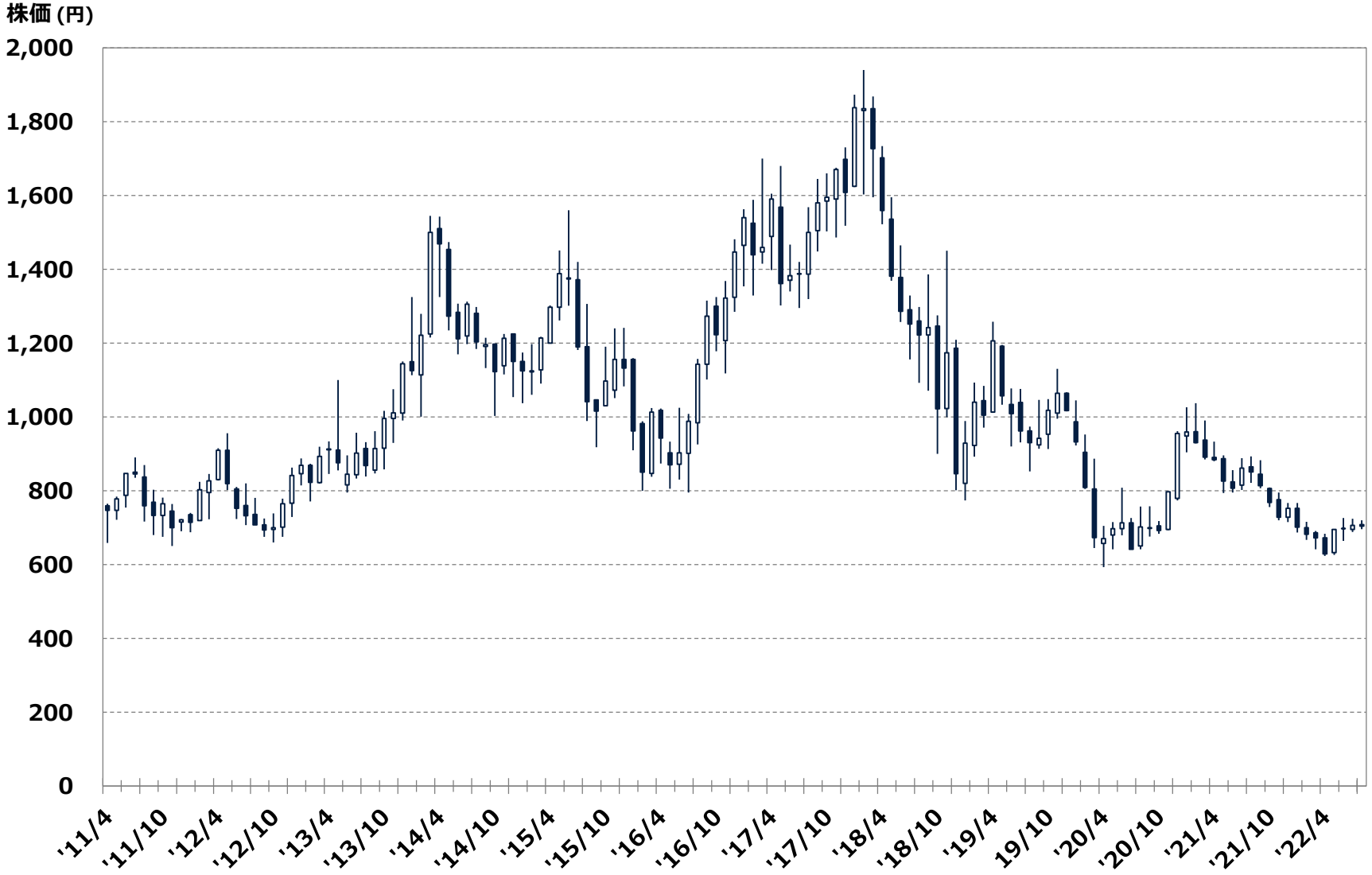
株主還元策



＊ 年間配当金は、2018年4月1日付の株式分割(1:2)後ベースに換算したものです。

© 2022 YUSHIN PRECISION EQUIPMENT CO., LTD.

過去10年間の株価推移 (月足)



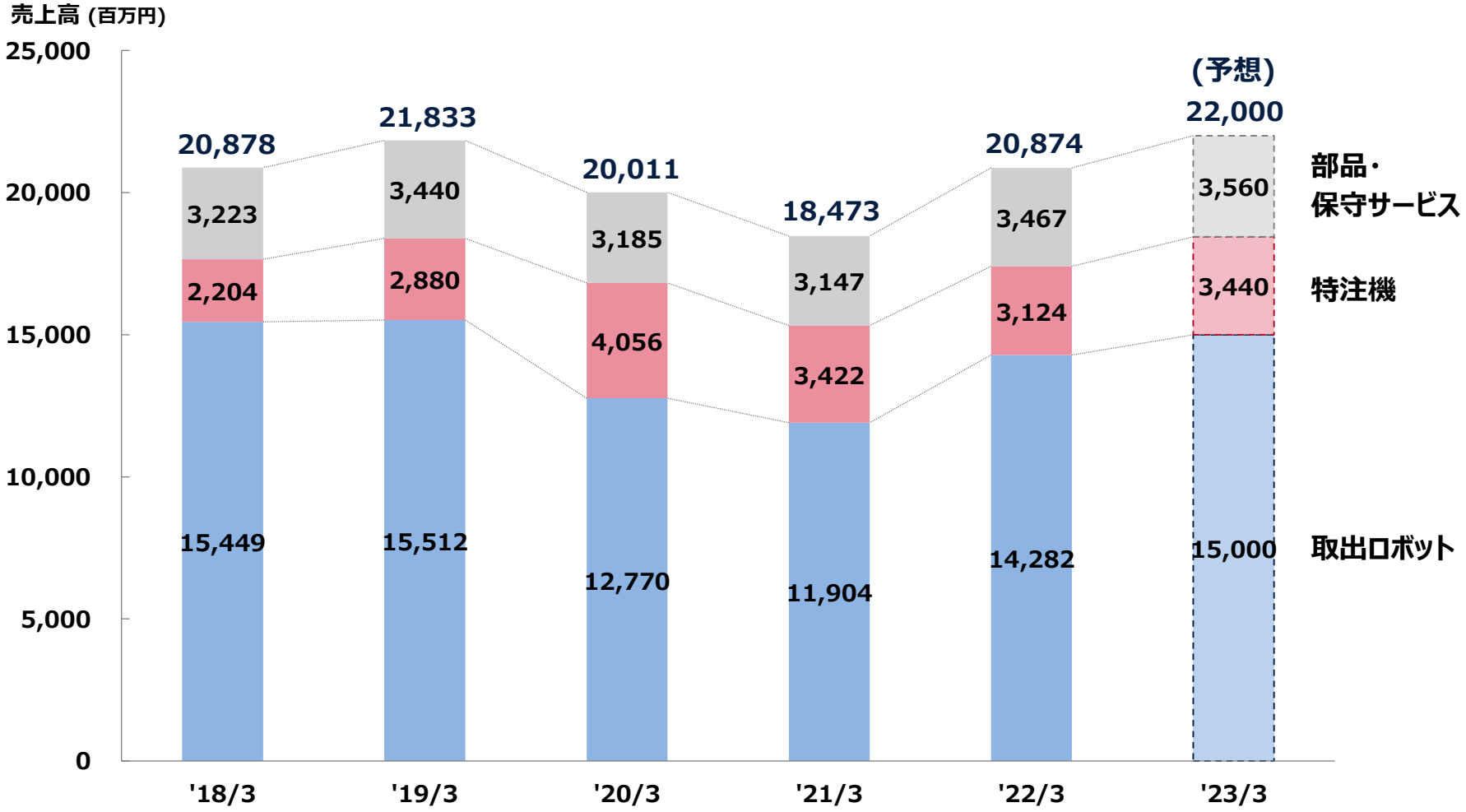
© 2022 YUSHIN PRECISION EQUIPMENT CO., LTD.

YUSHIN

参考資料

(参考) 品目別売上高

- 2022年3月期は**新商品投入**と経済活動の回復によって取出ロボットと部品・保守サービスが増加
- 特注機は特定顧客の設備投資計画に影響されるものの**世界的な自動化需要の高まり**で堅調



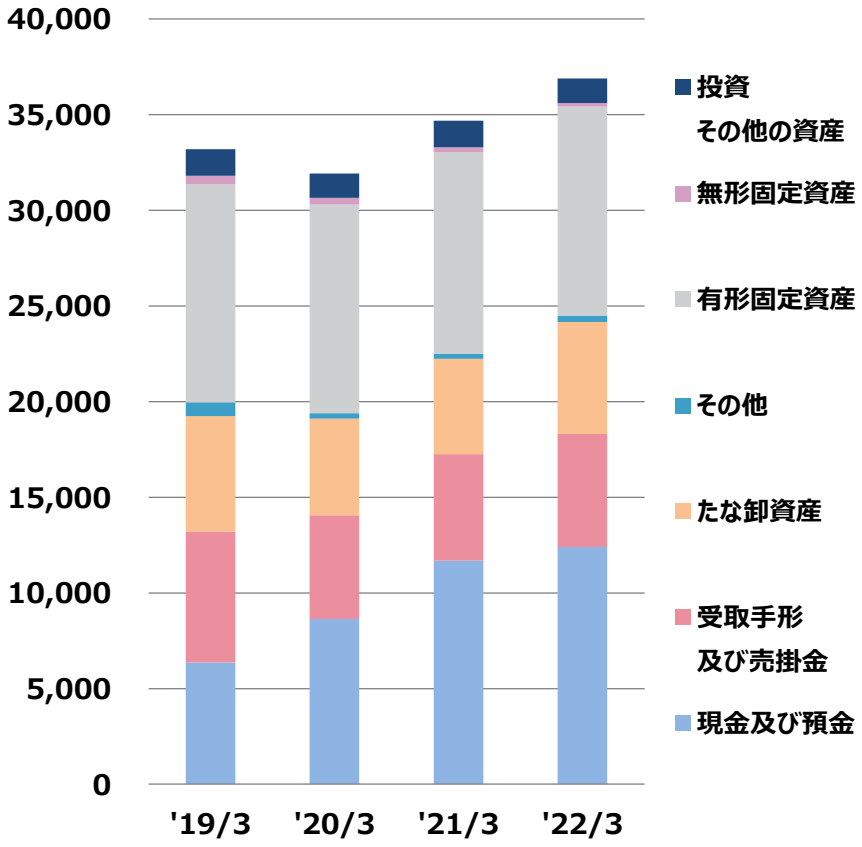
© 2022 YUSHIN PRECISION EQUIPMENT CO., LTD.

(参考) 貸借対照表

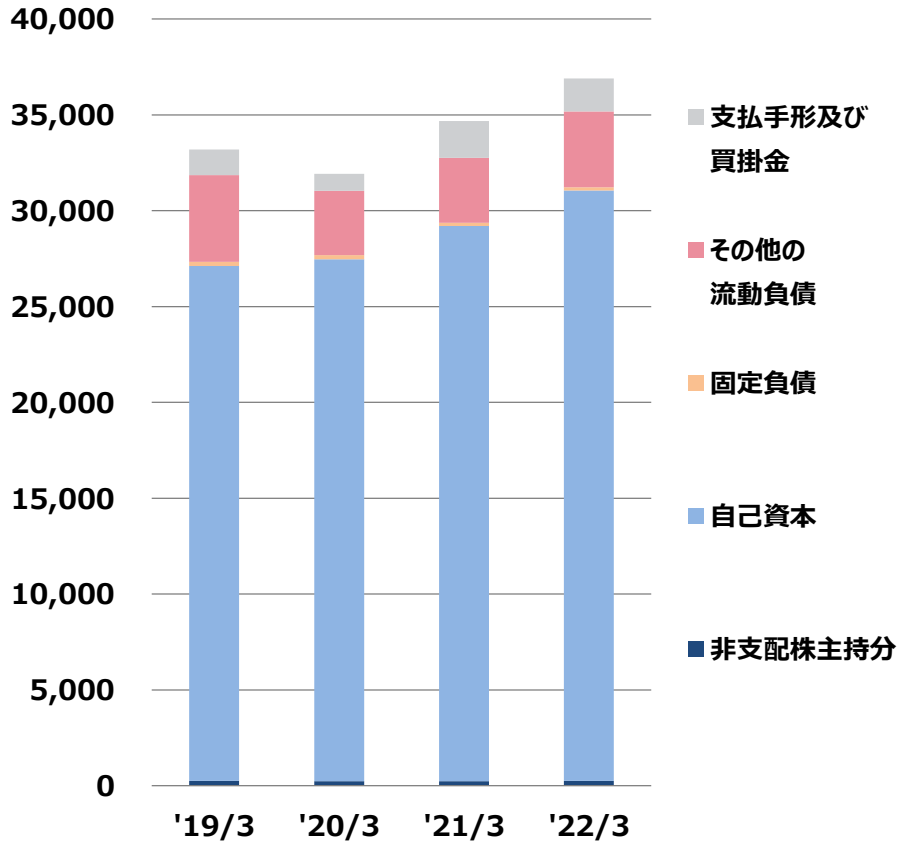
- 将来の機動的な投資に備え、現金及び預金が増加

- 自己資本比率80%以上を継続
- 有利子負債ゼロを継続

◆資産 (百万円)



◆負債・純資産 (百万円)

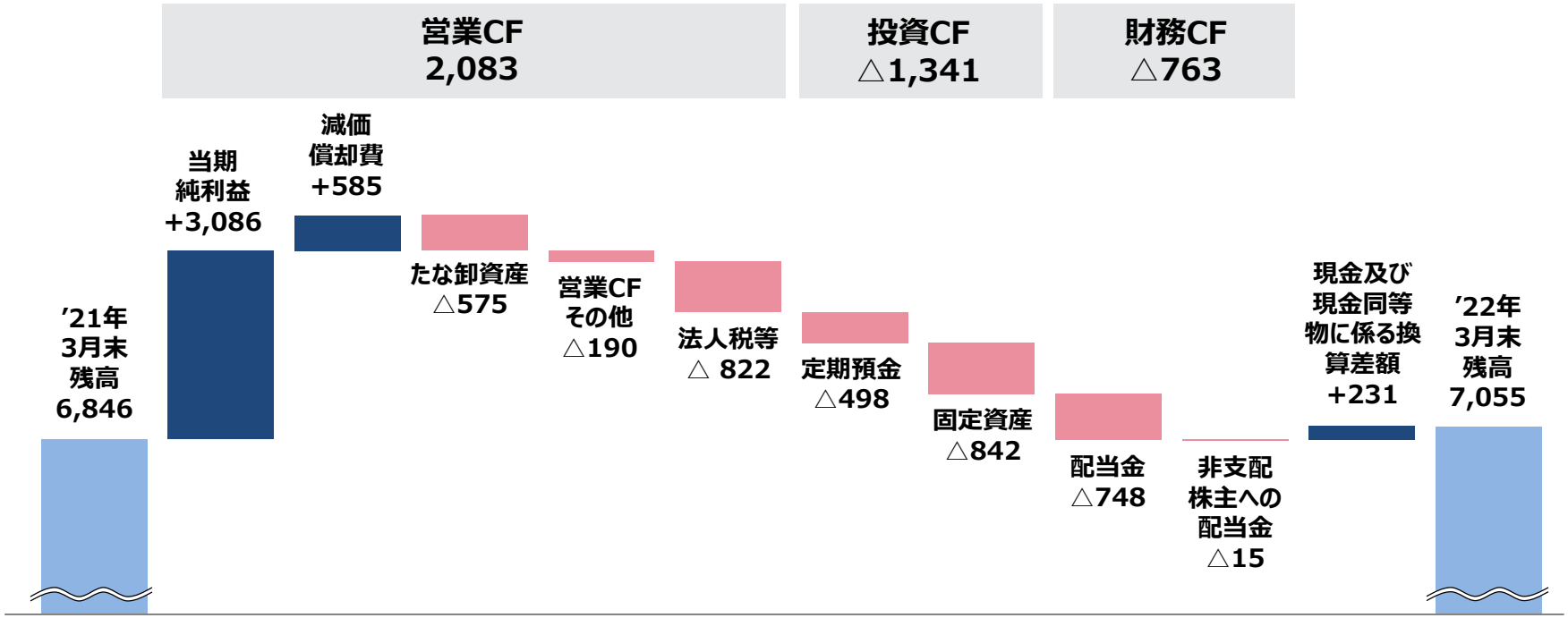


© 2022 YUSHIN PRECISION EQUIPMENT CO., LTD.

(参考) キャッシュ・フロー(CF)分析・推移

YUSHIN

◆主なキャッシュ・フロー分析 (百万円)

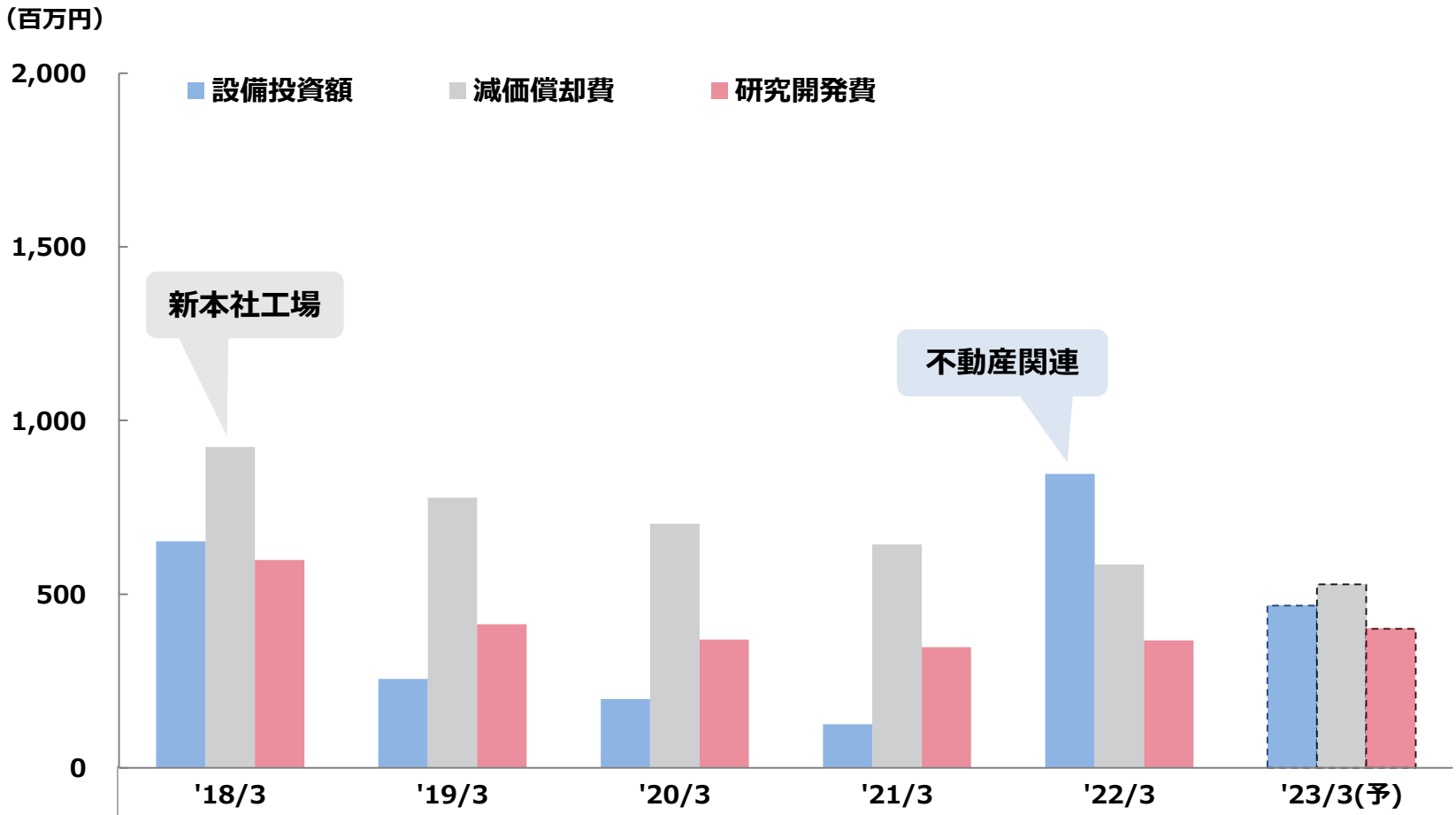


◆営業、投資、財務キャッシュ・フローの推移 (百万円)

	'17/3	'18/3	'19/3	'20/3	'21/3	'22/3
営業CF	1,626	1,223	2,291	3,558	3,487	2,083
投資CF	△471	△2,511	△61	△1,475	△1,987	△1,341
財務CF	△678	△659	△1,316	△946	△561	△763

© 2022 YUSHIN PRECISION EQUIPMENT CO., LTD.

(参考) 設備投資・減価償却費・研究開発費



	'18/3	'19/3	'20/3	'21/3	'22/3	'23/3(予)
設備投資額	652	256	198	125	846	467
減価償却費	924	778	703	643	585	528
研究開発費	598	413	369	347	367	400

© 2022 YUSHIN PRECISION EQUIPMENT CO., LTD.

(参考) 代表取締役社長　小谷高代　略歴

YUSHIN

2003年03月	大阪大学大学院 基礎工学研究科機械工学コース修了
2007年06月	マサチューセッツ工科大学スローン経営大学院(MBA)修了
2008年04月	株式会社ユーシン精機入社
2014年09月	京都大学大学院工学研究科 機械理工学専攻 (博士後期課程修了)
2019年04月	執行役員 開発本部 研究開発部責任者
2020年06月	常務取締役 開発本部責任者
2020年10月	取締役副社長 兼 開発本部責任者
2021年06月	代表取締役社長

© 2022 YUSHIN PRECISION EQUIPMENT CO., LTD.

株式会社 ユーシン精機

問合せ先：経営企画室

（TEL）075-933-9555 （E-mail）irinfo@kyo.ype.co.jp

https://www.ype.co.jp

IRサイトでは、説明会情報や各種資料を配信しています。

https://ir.ype.co.jp/ja/Top.html

こちらのQRコードからもアクセスできます。→

注意事項：

本資料には、業績に関する将来予測の記述が含まれております。これらの記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化等により、実際の業績とは異なる可能性があることにご留意ください。

又、本資料は財務情報、経営情報等の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資を勧誘するものではありません。

本資料の転載はご遠慮下さい。